

福岡県内のスカウトのみなさん

福岡県連盟内のスカウト活動に関わる成人の皆様

日本ボーイスカウト福岡県連盟
県コミッショナー 郡島 三暁

セーフ・フロム・ハーム(思いやりのあるスカウト活動)のかくじつな実行について(おねがい)

めぶきの季節になりました。スカウトのみんなは、元気にえがおでスカウト活動をしていると思います。

さて、このスカウト運動では「セーフ・フロム・ハーム」～思いやり心をはぐくむ～ことを大切にしたりと取り組んでいます。このとりにくみは、「子どものけんりじょうやく」を守り、すべてのスカウト運動にかかわる方すべてがあんぜんで安心して活動するためにすすめているもので、運動の中心となるものです。

しかし近ごろ、ざんねんなことに、「セーフ・フロム・ハーム」を守っていないのではないかというおはなしがたくさん集まっています。これらのおはなしは、「ちかいとおきて」(やくそく・さだめ)を守れていないものばかりでした。

すべてのスカウト・おとなは、特に下のことを自分のこととしてしっかりとけとめて、みんなが笑顔で元気にスカウト活動できるよう、心がけてください。そして、集会の中で思いやりについてお話し合いをして、考えを深めていってください。おねがいします。

【セーフ・フロム・ハームにもとづき、すべてのスカウト、おとなが気をつけること】

1 スカウト活動では、自分も相手も大切にしたいことばづかいや行動を心がけます。

(1) 相手をよぶときには、「さん」「くん」をつけましょう。(できるかぎり「さん」づけをします。)

・「おい」や「こら」「ねえ」などを使ってよびません。よびすてはしません。

※キャンプネーム(ニックネーム)として、よびすてをしてほしいと自分から言い出したり、チームの中でそうしようと決めたりするときをのぞきます。ただしそのときでも、まわりの人たちからどのように見られるかは考えるようにします。

(2) 相手をこうげきしたり、きずつけたりする言葉づかいや行動をしません。

・相手とけんかになりそうなときは、ほかの人をよんでけんかにならない方法をいっしょに考えます。

・いじめかなと思ったら、みぢかなおとなにそうだんしましょう。

・相手がかなしむうわさばなしを広げません。うわさ話を聞いたときはおとなにそうだんしましょう。

(3) 相手がこたえられないような言い方をしません。

・「あなたにはわからないと思うけど」「そんなことをするなら(スカウト活動を)やめてほしい。」「そんなこともわからないの。」「なぜできないの。」などのことばは、相手が深くきずつきます。

2 スカウト活動では、つねにその場にふさわしい身なりになります。

・まわりの人から「スカウトってかっこいい」と思われるようにがんばりましょう。

3 SNSを使うときでも、1たい1にならないように気をつけ、スカウトらしい言葉づかいを心がけましょう。

・相手がまちがったうけとり方をしないように、たくさん言葉を使いましょう。

・つたえる相手や、よむ人たちのことを考えた言葉を使います。

・グループの中にいない人のことをつたえるときはとくに、相手を大切にしたい言葉づかいをします。わるぐちは書きません。

※スカウトのみなさんは、むずかしい言葉があったらみぢかなおとなにきいてください。

※非加盟員(保護者を含む)を含むすべての成人は、セーフ・フロム・ハームガイドラインを遵守します。